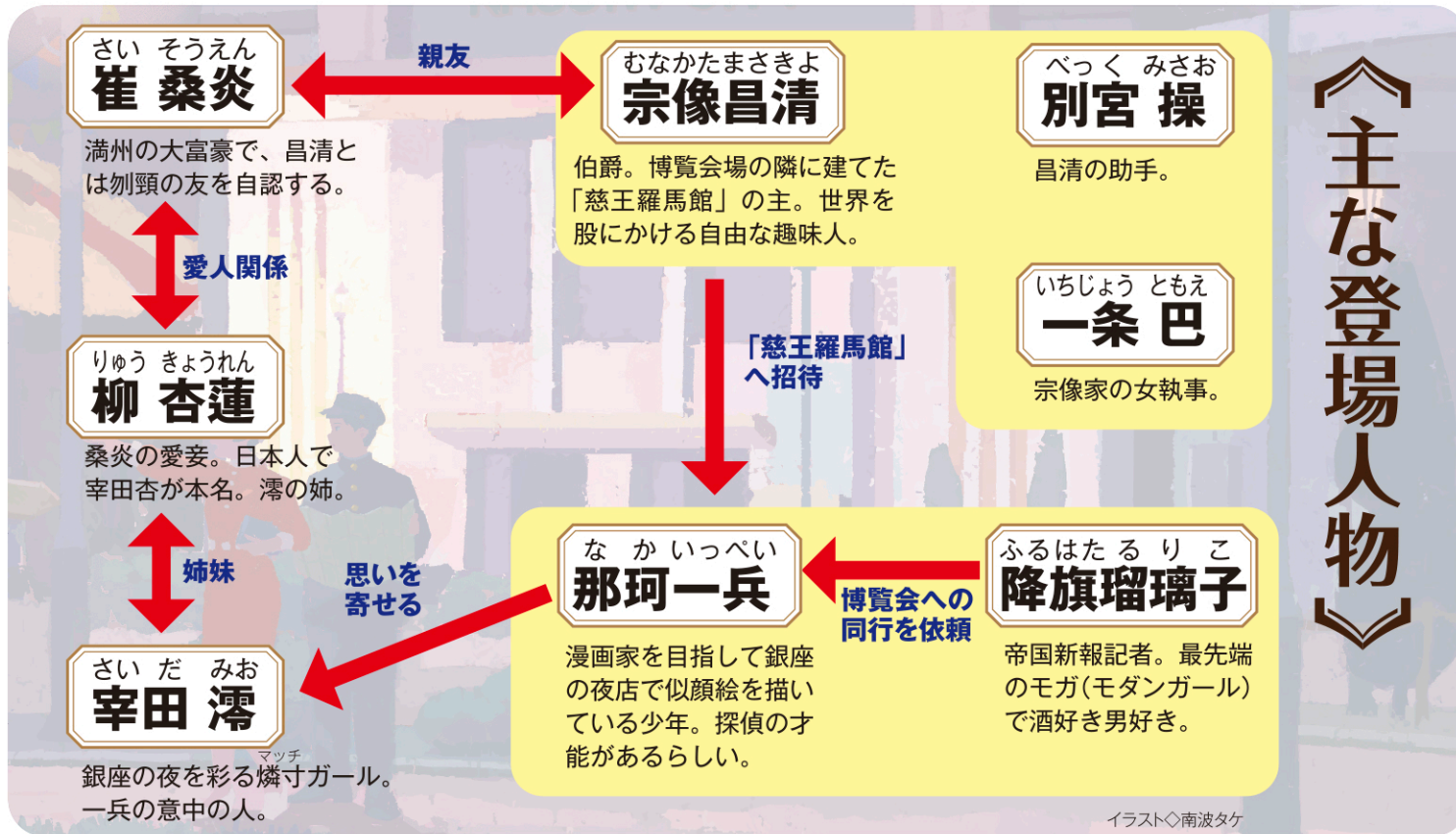




『たかが殺人じゃないか』 の前日譚を文庫化!



《主な登場人物》

名古屋で開催されている汎太平洋平和博覧会の取材に絵の才能を買われて同行した那珂一兵。そこで世界を股にかける趣味人・宗像昌清伯爵や満州の大富豪・崔桑炎と出会い、宗像が建てた異様な趣向が乱立する「慈王羅馬館」に招待される。一方、一兵の地元の銀座では、彼が思いを寄せる少女・澯が誘拐され、銀座の街には切断された人の足から滴る血の雨が降っていた――。

戦前の名古屋を舞台に
少年・那珂一兵が
不可解な謎に挑む!

〈昭和ミステリ〉シリーズ第1弾

辻 真先

深夜の博覧会
昭和12年の探偵小説

創元推理文庫

